

在日朝鮮人運動史研究会監修

# 在日朝鮮人 資料叢書

第一回配本

(叢書3)

◆本叢書は今まで蓄積してきた在日朝鮮人・韓国人に関する史料・記録・研究の成果と発掘をふまえて、広く在日朝鮮人・韓国人の問題に关心をもつ人々に活用され、一層の理解・認識を深めることができるよう、在日朝鮮人運動史研究会の会員により多様な資料を提供することを意図して企画した。

◆「韓国併合」一〇〇年にあたり、眞の日本と韓国・朝鮮の友好・交流を築いていくためにも、改めて資料で在日朝鮮人・韓国人の歴史を振り返ることの意義は大きいものと考える。

▼戦後初期の在日朝鮮人社会の構造を理解する上で不可欠の基本資料！

## 戦後初期在日朝鮮人人口調査資料集

長澤秀編

全2巻

# 編者のこゝば

長澤 秀 (在日朝鮮人運動史研究会会員)

本資料集は、①内閣統計局編『昭和二十年人口調査』(1945年1月1日現在)、②総理府統計局編『昭和二十二年臨時国勢調査』(1947年10月1日現在)の二つで構成されている。

一九四五年八月一五日現在で推定二〇〇万人前後とも言われる在日朝鮮人人口は、解放二ヶ月半後同年一一月一日に一一五万五五九四人に、そのさらに約二年半後の一九四七年一〇月1日には、五〇万八九〇五人に激減している。解放直後の在日朝鮮人の故郷への帰還熱がいかにすさまじかったかをよく示している。

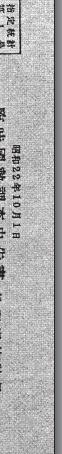
①は全国四六都道府県別、二〇七市・五五〇郡別、男女別、年齢別の詳細なデータである。帰還途上で西日本各地の港湾に滞留したり、GHQによる計画輸送が遅れていた東日本、北日本各地の被徴用朝鮮人も捕捉し、反映されていると思われる。一歳刻みの年齢別統計は、家族構成を知る上でも貴重である。併せて在日台湾人の状況も詳細に示されている。戦後初の人口調査という点でも貴重である。

②は全国四六都道府県別、一万五〇〇余町村別、男女別の詳細なデータである。当時の朝鮮人集住地域が浮き彫りになり、併せて在日台湾人・中華民国人、その他の状況も分かれる戦後初の国勢調査である。

(表) 台湾人男女別年齢別人口数(都道府県別)

年 令 (歳) 合 計	朝 鮮 人		台 湾 人		北 海 道 人		夕 張 市 人	
	男	女	男	女	男	女	男	女
61歳	3	2	1	1	1	1	1	1
62歳	2	2	1	1	1	1	1	1
63歳	2	2	1	1	1	1	1	1
64歳	2	2	1	1	1	1	1	1
65歳	2	2	1	1	1	1	1	1
66歳	2	2	1	1	1	1	1	1
67歳	2	2	1	1	1	1	1	1
68歳	2	2	1	1	1	1	1	1
69歳	2	2	1	1	1	1	1	1
70歳	2	2	1	1	1	1	1	1
71歳	2	2	1	1	1	1	1	1
72歳	2	2	1	1	1	1	1	1
73歳	2	2	1	1	1	1	1	1
74歳	2	2	1	1	1	1	1	1
75歳	2	2	1	1	1	1	1	1
76歳	2	2	1	1	1	1	1	1
77歳	2	2	1	1	1	1	1	1
78歳	2	2	1	1	1	1	1	1
79歳	2	2	1	1	1	1	1	1
80歳	2	2	1	1	1	1	1	1
81歳	2	2	1	1	1	1	1	1
82歳	2	2	1	1	1	1	1	1
83歳	2	2	1	1	1	1	1	1
84歳	2	2	1	1	1	1	1	1
85歳	2	2	1	1	1	1	1	1
86歳	2	2	1	1	1	1	1	1
87歳	2	2	1	1	1	1	1	1
88歳	2	2	1	1	1	1	1	1
89歳	2	2	1	1	1	1	1	1
90歳	2	2	1	1	1	1	1	1
91歳	2	2	1	1	1	1	1	1
92歳	2	2	1	1	1	1	1	1
93歳	2	2	1	1	1	1	1	1
94歳	2	2	1	1	1	1	1	1
95歳	2	2	1	1	1	1	1	1
96歳	2	2	1	1	1	1	1	1
97歳	2	2	1	1	1	1	1	1
98歳	2	2	1	1	1	1	1	1
99歳	2	2	1	1	1	1	1	1
100歳	2	2	1	1	1	1	1	1
合計	1121	1121	1121	1121	1121	1121	1121	1121

者名



## ▼本資料の特色

●『昭和二〇年人口調査』(1945年1月1日現在)は、敗戦後初めて実施した在日朝鮮人人口調査の原表。

●『昭和二二年臨時国勢調査』(1947年10月1日現在)は、敗戦後最初の国勢調査である。

●朝鮮への帰還希望者の大半が帰還し、その結果、定住希望の強い朝鮮人が計上されることになり、戦後の朝鮮人社会の原点となつた人々の人数と分布を示す。

●二つの調査を比較することで、戦後初期の在日朝鮮人の集住地域と人口の急激な変動が分かる。

●二〇年は内閣統計局、二二年は総理府統計局による調査

第五表「朝鮮人・台湾人ノ男女及年齢ニ依リ分チタル人口数ノ表」(一九四五年一月一日現在)、  
第六表「出身地域及び国籍男女別人口」(一九四七年一〇月一日現在)の二つで構成されている。

一九四五年八月一五日現在で推定二〇〇万人前後とも言われる在日朝鮮人人口は、解放二ヶ月半後同年一一月一日に一一五万五五九四人に、そのさらに約二年半後の一九四七年一〇月1日には、五〇万八九〇五人に激減している。解放直後の在日朝鮮人の故郷への帰還熱がいかにすさまじかったかをよく示している。

①は全国四六都道府県別、二〇七市・五五〇郡別、男女別、年齢別の詳細なデータである。帰還途上で

西日本各地の港湾に滞留したり、GHQによる計画輸送が遅れていた東日本、北日本各地の被徴用朝鮮人も捕捉し、反映されていると思われる。一歳刻みの年齢別統計は、家族構成を知る上でも貴重である。

②は全国四六都道府県別、一万五〇〇余町村別、男女別の詳細なデータである。当時の朝鮮人集住地域が浮き彫りになり、併せて在日台湾人・中華民国人、その他の状況も分かれる戦後初の国勢調査である。

本資料集は、解放直後の激動期の在日朝鮮人社会や人口構造を理解する上で不可欠な基本資料である。戦後の朝鮮人集住地域に関する詳細なデータも提供しており、①②とも統計局の報告書としては未刊行の「集計結果原表」である。

第五表 朝鮮人

# 在日朝鮮人の諸相が読める貴重な資料

小林 知子 (福岡教育大学国際共生教育講座・教授)

在日朝鮮人の歴史や生活について考えるとき、それがいつの時期の、どんなテーマであったとしても、知つておくべきことのひとつは、在日朝鮮人の人口をめぐる状況である。日本の、あるいは当該地域の在日朝鮮人人口はどのくらいで、男女比や年齢構成はどうなつてているのだろうか。そして、これらはどのように推移しながら、現在に至るのだろうか。

本書に収録された『昭和二十年人口調査』及び『昭和二十二年臨時国勢調査』の抜粋資料は、日本の敗戦・朝鮮の解放を契機とした在日朝鮮人の状況を明示する、大変重要な基礎的データである。本資料は、一九四五年の戦争末期の時点で、二〇〇万人を越える人口

(この数は現在の在日外国人総数にほぼ匹敵する)を数えた在日朝鮮人が、終戦直後の情勢変化のなかで、どのように行動したのかを考えるうえでの、数少ない貴重な資料であることは言うまでもない。また、何よりも、この激動の時代の在日朝鮮人の在住状況を把握してこそ、戦前から現在に至るまでの、日本社会・朝鮮半島と在日朝鮮人との関係を、より構造的に認識することができるるのである。

とくに、本書に収録された資料によつて、在日朝鮮人の人数や男女比年齢分布が、市郡レベル状況まで把握できることは、注目に値する。これまで、これら資料の存在は、森田芳夫氏や金英達氏による研究で紹介・利用されてきたものの、実際には、せいぜい都道府県レベルでしか使われてこなかつた。今回、この大部な資料が、戦時動員研究の第一人者である長澤秀氏の解説とともに、活用しやすいコンパクトな形になることを知り、おおいに期待している。さらに、本資料では、台湾人やその他外国人の在住状況も把握できる。本書は、在日朝鮮人史研究者はもちろんだが、ひろく、地域社会と外国人との関係について関心を持つ人々にとつて、必携の資料であるといえるだろう。

● 在日朝鮮人以外に、在日台湾人・中華民国人の詳細で貴重な統計を掲載。

二 陸軍・海軍・鉄道・郵便・電気

第10表 出身地域及び国籍男女別人口

(10枚の内第 1号)

都 市 区 町 村	総 数		日 本 人		朝 鮮 人		中 華 民 国 人		其の他の外国人	
	総 数	男	総 数	男	総 数	男	総 数	男	総 数	男
北 海 道										
北 海 道	38,820,021	19,911,791	19,842,28	9,466,611	19,929,789	9,116,876	5,755,041	1,341,596	3,571,228	1,229,488
札 幌 市	2,996,023	1,282,661	1,210,889	8,741,113	1,27,873	1,17,240	424	160	231	101
旭 川 市	10,750,90	5,255,0	5,091,0	10,71,113	10,22,76	9,66,937	340	276	65	30
小 増 館 市	16,893,94	8,064,64	8,250,50	16,47,930	8,05,311	9,41,999	176	103	43	9
室 蘭 駅	2,118,624	1,088,791	1,09,624	2,10,028	1,03,374	1,07,628	460	338	132	160
釧 路 市	9,672,22	4,885,0	4,28,72	9,65,10	4,8,678	4,78,12	197	123	52	19
留 岩 市	11,921,31	5,150,71	5,10,171	11,81,3	5,11,65	5,05,151	94	77	17	10
留 岩 市	4,422,24	2,23,234	2,03,840	4,66,232	2,03,825	2,03,728	126	97	39	15
留 岩 市	4,099,9	2,08,04	2,05,985	4,0,854	2,0,305	2,0,347	123	90	35	2
留 岩 市	8,22,02	4,08,011	4,02,02	4,23,780	3,92,00	3,82,00	86	61	25	5
留 岩 市	4,29,724	2,12,62	2,17,13	4,28,793	2,12,00	2,16,876	80	53	27	2
留 岩 市	3,48,50	1,84,43	1,67,07	3,47,45	1,80,97	1,66,69	100	96	9	2
留 岩 市	8,02,97	4,69,30	4,12,27	3,0,040	1,49,114	1,31,24	16	13	1	1
石 痞 支 駅	18,69,83	9,68,11	9,21,65	18,67,66	9,46,59	9,21,39	210	105	28	1
石 痞 支 駅	8,22,6	4,27,1	4,27,1	8,03,6	4,06,6	3,66,8	90	81	3	4
札 幌 市	11,491	5,20,04	2,22,87	4,49,1	5,20,0	2,22,87	1	1	1	1
篠 路 町	16,221	8,07,9	8,18,2	16,21,9	8,09,7	8,18,2	2	2	2	2
篠 路 町	10,144	5,356	5,05,8	10,937	5,323	5,284	2	3	1	1
手 早 町	26,624	12,620	12,416	26,005	12,626	12,215	5	3	2	1
白 石 町	16,379	8,20,7	8,17,0	16,372	8,20,0	8,17,0	5	3	2	1
白 廣 町	6,110	3,07,8	3,08,5	6,10,5	3,07,8	3,03,1	1	1	1	1
白 廣 町	2,815	1,43,92	1,44,23	2,87,6	1,42,29	1,42,18	18	43	5	4
石 別 町	8,742	4,320	4,32,9	8,743	4,33,0	4,32,9	1	1	1	1
新 増 町	16,820	8,02,7	8,14,3	16,32	8,02,9	8,18,3	18	16	1	1
新 増 町	3,161	1,60,0	1,55,7	3,16,0	1,60,0	1,55,7	1	1	1	1
新 増 町	6,331	3,12,3	3,20,6	6,32,1	3,12,3	3,20,6	2	2	2	2
新 増 町	7,224	3,92,8	3,89,8	7,23,6	3,43,1	3,81,3	2	2	2	2
新 増 町	12,028	6,71,7	6,82,0	12,02,9	6,70,0	6,27,0	23	13	10	10
新 増 町	14,816	7,27,8	7,02,3	14,80,9	7,17,6	7,03,2	7	7	7	7
空 知 町	55,8,87	29,34,3	32,61	44,65,8	53,8,1	37,82,6	211	123	49,9	20,6

在日朝鮮人資料叢書3

◆平成23年11月刊行!

長澤秀編

# 戦後初期在日朝鮮人口調査資料集 全2巻

戦後の朝鮮人集住地域に関する詳細なデータを提供。統計局の報告書としては未刊行の資料である。

- ▼第1巻=内閣統計局編 『昭和二十年人口調査・第五表「朝鮮人・台灣人ノ男女及年齢ニ依リ分チタル人口数ノ表』
- ▼第2巻=総理庁統計局編 『昭和二十一年臨時国勢調査・第十表「出身地域及び国籍男女別人口』
- ◆定価=本体36000円(税込・上製・ケース入り) ISBN978-4-89774-138-3

在日朝鮮人資料叢書1

在日朝鮮人運動史研究会編

## 在日朝鮮人史資料集 全2巻

「在日朝鮮人史研究」収録の附属資料を再編集し、通覧できるようにした。他の史料集では見ることの出来ない在日朝鮮人・韓国人に関する資料を多数収録。

◆定価=本体24000円(税込・上製・ケース入り) ISBN978-4-89774-134-5

在日朝鮮人資料叢書2

在日本朝鮮人商工連合会編 樋口雄一解説

## 在日本朝鮮人商工便覧 1957年版

戦後初めての本格的な在日朝鮮人の商工業実態に関する全国的調査資料。なお、

在日本朝鮮人商工連合会編 『調査月報』の附属資料を付す。

◆定価=本体6000円(税込・上製・ケース入り) ISBN978-4-89774-135-2

- ▼以下続刊予定(順不同、タイトルはすべて仮題)
- 4 在日朝鮮人「帰還」資料 鈴木久美編
  - 5 在日朝鮮人留学生資料 裴始美編
  - 6 在日朝鮮人生活保護資料 金耿昊編
  - 7 日本在留朝鮮人の出版物 小野容照編
  - 8 解放後在日朝鮮人文化運動資料 宇野田尚哉編
  - 9 朝鮮人強制労働員資料 山田昭次編
  - 10 在日朝鮮人状況資料 福井讓編
  - 11 在日朝鮮人の教育 佐野通夫編
  - 12 戦前期在日朝鮮人特集記事集 外村大編

緑蔭書房

〒173-0004 東京都板橋区板橋1-13-1

☎ 03(3579) 5444

〔消費税が別途加算されます〕

取扱書店